

第2回 全国ユース環境活動発表大会



2017年2月4日、5日の2日間、東京・渋谷区にある国連大学で、「第2回全国ユース環境活動発表大会」が開催されました。全国から16高校が集まり、1日目は「ユースESD学び合いフォーラム」、2日目は「全国ユース環境活動発表大会」が行われました。表彰式には、山本公一環境大臣も出席され、環境大臣賞が贈呈されました。次世代を担うユースが、熱心に発表し、そして交流した2日間でした。

ご挨拶

環境大臣

山本公一



環境大臣の山本公一です。本日は、全国から大勢の方にご参加いただき、ありがとうございます。また、審査委員の皆様におかれましては、長時間にわたる審査、心より御礼申し上げます。

高校生・大学生の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。環境保全と地域経済の活性化を同時に実現したり、行政や企業と連携して地域の環境課題の解決を図ろうとするなど、皆さんが日頃から熱心に活動してくれていることに、環境大臣として、深く敬意を表したいと思います。

2015年のことですが、ニューヨークの国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、2030年をターゲットとした「持続可能な開発目標」が採択されました。その頭文字をとって「SDGs」と呼んでいますが、SDGsは、地球規模の課題について17の目標を定めるもので、気候変動への対処、持続可能な消費と生産など、数多くが環境に関連しています。皆さんの活動は、まさにSDGsを達成するための重要な取組そのものです。

高校生・大学生の皆さん、2030年や更にその先を見据えて、将来こんな世の中にしたいという熱意をもって、これからも精力的に環境保全に取り組んでください。そして、日本のみならず、国際社会の持続可能な未来を切り拓いてください。

私には孫が6人いるのですが、皆さんを含めた将来を担う世代のためにも、環境大臣として、昨日より今日、今日より明日、一歩ずつでもより良い社会に向かって前進したいと思っています。環境省は、皆さんをしっかりと応援していきます。

最後になりますが、本日より来場の方々のますますのご発展を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

国連大学

サステイナビリティ高等研究所

所長 竹本和彦



国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、第1回に続き本年も「全国ユース環境活動発表大会」を環境省、環境再生保全機構と共同で開催いたしました。各地から多くの皆様方にご参加いただき御礼申し上げます。

地球環境問題をめぐっては、2015年に世界で2つの大きな動きがありました。1つは「持続可能な開発目標」(SDGs)の採択です。9月の国連総会で193ヶ国が2030年までに取り組む共通の目標に合意しました。SDGsは、貧困、飢餓、教育、ジェンダー、水、エネルギー、気候変動、陸上生態系の保護など、17の項目から成り立ち、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて世界が協力していくための目標となっています。もう1つは、12月に「気候変動枠組条約第21回締約国会議」(COP21)で採択されたパリ協定です。この協定は、国際社会全体で温暖化対策を確実に進めるための仕組みで、平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することを世界共通の目標としています。

国際社会は、これらの意欲的な目標の合意から2年目に入り、目標を具体的な行動に移すための重要な時期を迎えています。特に、将来世代を担う若い世代の皆様方が目標達成に向けた活動にかかわることは大変重要であり、既にこうした活動の輪が広がっています。国連では、目標への取り組みをリードする優秀な若者17人を毎年認定する「国連ヤングリーダーズ・イニシアティブ」が始まりました。また、石川県金沢市に拠点を置くUNU-IASいしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(OUIK)は、関係機関と連携し、県内の高校でSDGsや地域の問題に関するワークショップを開催しました。さらに、第2回ユース環境活動発表大会の1日目には、参加した高校生の皆さんに2030年と今の活動を繋げることで未来を明確化するワークショップ「2030」を開催するなど、若い世代を対象にした活動も実施しています。

UNU-IASは、これからも様々な活動を通じてユース世代の環境活動を応援していきます。今後も皆様方のより一層の活動を期待します。